

共同助成(兵庫県遊技業協同組合)

## 「ギャンブル等依存症者及びその家族への総合的継続支援」事業

### 依存症の当事者、家族、支援者が交流することで、依存症回復者の地域への復帰を後押しする

薬物、アルコール、ギャンブルなどの依存症の問題で悩む人が増えているなかで、当事者はもとより、その家族や関係者が交流することで問題解決を図ろうと活動しているのが、神戸市を拠点とする「神戸ダルク ヴィレッジ」である。依存症からの回復者が地域社会への復帰を果たすための困難を解消しようと、継続して事業に取り組んでいる。



無料家族相談会を告知するチラシ

### 兵庫県内の依存症リハビリ施設の先駆けとして包括的な支援活動を継続する

一般社団法人「神戸ダルク ヴィレッジ」は、各種依存症者(薬物、アルコール、ギャンブル等)、その家族、および依存の問題を抱えるあらゆる関係者に対して、依存症からの回復や社会復帰を包括的に支援する事業、ならびに広く一般を対象に依存症に関する啓発事業を行い、社会全体の利益に寄与することを目的としている団体である。障がい福祉サービスによる自立訓練事業、家族や当事者および関係者への相談事業、依存症に関する研究や兵庫県全域における啓発活動、地域の刑務所や保護観察所での教育指導活動、中学校・高校などでの講演活動などを行なうほか、地域のボランティア活動などに依存

症者と一緒に積極的に参加することで、社会復帰に向けて準備を整えるための活動などに取り組んでいる。2021年度にPOSCの助成を活用し、依存症からの回復支援の相談件数が多い姫路地区にギャンブル等依存症の相談拠点を設置した。それにより、相談事業や啓発事業において兵庫県全体を大きくカバーすることが可能になった。さらに、2022年度もPOSCの助成を受けたことで、これまでの事業を継続・発展させることを念頭に、「神戸ダルク ヴィレッジ」の卒業生や卒業を目指すメンバーが、地域との触れ合いを増やすなかで社会復帰の怖さを軽減していくための事業に取り組んだ。依存症者は依存から回復しても、再び地域社会に戻るときに、社会からの偏見や自分自身が持つ偏見(依存症

であったことを隠さなければいけない)などと闘わなければいけないという困難を強いられる。それによって社会復帰につまずいてしまうことが往々にしてあり、そうした問題を取り除くことも、リハビリ施設に課せられた一つの使命である。

### 依存症者の家族や支援者も一体となって交流することで触れ合いの機会を増やす

地域の人々との触れ合いを増やす活動としては、2022年10月に新たにスタートさせた指定就労継続支援B型事業所「ばっくやード」、およびその店舗である沖縄タコス専門店「スピークイージー」を介しての交流を行った。また、依存症者の家族や支援者の方々と垣根を超えた交流を行うことを目的に、当団体が所有する鳥取県内のログハウスにおいて、小屋づくりをはじめ、自然体験やDIY作業を一緒に楽しむ事業にも取り組んだ。この事業は1年を通して行われ、参加人数は延べ150名以上となった。このほかにも、これまでの事業の継続として、姫路家族教室(毎月第2土曜)・神戸ダルク家族会(毎月第4日曜)・姫路無料家族相談(毎月第1火曜)・尼崎無料家族相談

(毎月第1水曜)などの家族会や相談事業、夜間の電話相談事業、刑務所への面会および文通支援、姫路を拠点とした通所型の拠点整備事業などにも取り組んだ。「依存症の当事者はもとより、その家族の方々が本事業に積極的に協力してくれたことや、家族の相談によって依存の問題に向き合うチャンスを得ることができた人が増えたことなどに事業の手応えを感じている。また、刑務所での教育指導を通して、依存症で絶望している入所者に回復の希望を届けることができ、当団体への支援希望者が30名以上に増えた。自然の中での体験交流では、雪によって小屋づくりなどの作業が思うように進まないこともあったが、最終的にはほぼ完成し、一緒に作業した参加者が非常にいい顔をしていたのが印象的だった」と、振り返る。

**兵庫県遊技業協同組合より**  
パチンコ・パチスロ業界にとって依存問題に取り組むことは、事業の持続という観点から欠かせないことだと認識しています。



ログハウスにおいて、小屋づくりをはじめ、自然体験やDIY作業を一緒に楽しむ事業にも取り組む

助成団体: 一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ <http://www.kobedarc.org>

**事業の継続的な取り組みにご理解いただき感謝します**

これまで数年にわたり支援していただいて本当に感謝しております。助成により事業の継続的な取り組みが可能になったことで、様々な活動計画が立てられるようになりました。姫路での活動は司法関係の協力もあり、今後の展開が期待できます。また、家族会の方々が鳥取にあるログハウスでの交流を切望されているので、2023年の活動も考えています。

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ  
代表理事 梅田 靖規さん